

JA兵庫六甲 (ゆめファーム兵庫六甲)

神戸市北区

委託先：就労継続支援B型事業所

主な作業内容

ミニトマトのパック詰め・シール貼り



時間や出勤日数を決め、年間通じて作業を委託 継続することで今後の貴重な労働力として期待



JA兵庫六甲の高度環境制御栽培施設「ゆめファーム兵庫六甲」。2棟の大型ハウスでは、ミニトマトや中玉・大玉トマト、イチゴなど数多くの品種の養液栽培に取り組んでいます。作物に合わせて液肥や温度などの栽培環境の制御ができるので、年間を通じて収穫や出荷作業が発生。人手がかかる作業を中心に、まずはできることから力になってもらおうと、農福連携の取組を進めています。

昨今の人手不足を補うため、既に就労をお願いしている既存の福祉事業所の了解の

もと、2024年7月に支援員向け説明会を実施。9月のインターンシップを経て、新たに神戸市内のB型事業所と、ミニトマトのパック詰めと容器のシール貼り作業を委託しました。ハウスに隣接する従業員向け施設を作業場に活用。作業時間は午前中の2時間程度とし、週1回の頻度で来てもらっています。利用者の年齢は幅広く、定期的に普段と違う場所に出かけることで良い気分転換になっているとのこと。慣れてきたら、作業の範囲も少しずつ広げていく予定です。

作業上の工夫点や報酬について

パック詰め作業では、詰めるトマトの大きさに偏りがいないか、割れや色味などに問題がないかをチェックしながら行うため、慣れるまで時間がかかりましたが、支援員が常に立ち会って作業することで、こなせる数量が増えました。計量では、出荷OKのグラム数を個々に大きく表示することで誰にでも分かるようにしています。

報酬は、時給制のパート従業員が同じ作業を行った場合の1時間あたりの仕上がり数量をもとに1個あたりの単価を設定し、出来高払いとしています。



(左から)営農経済事業部の
中西一夫さん、藪西心さん

(2025年1月取材)